

2024年度 総合型選抜Ⅱ 国際社会志向型

適性検査

I 次の英文を読んで、問いに答えなさい。

In every country in the world, women are treated [ア] from men. Women get less pay than men for the same work. And it's not just at work. In some countries, women still don't have the right to vote. And all too often, women are victims of domestic violence.

We call this ① gender discrimination, and it affects the lives of women and girls everywhere. It's a fact – women earn less money, have fewer rights, and are more likely to be physically harmed. This is all bad for their well-being. It's a huge issue since women are [イ] half of the world's population. This is a problem everyone should be upset about. But there's a lack of anger about gender discrimination, even among women. Around the world, both women and men are denying that discrimination is even a problem. What's more, it seems that people who live in countries where gender discrimination is strong are less likely to recognize it at all.

We wanted to understand why people – especially women – might deny that gender discrimination exists. We ② carried out surveys, with over 20,000 participants in total: around 6,000 people in the USA, then approx. 17,000 others from 23 different countries, including Russia and the UK. We asked how [ウ] they believe that “Discrimination against women is no longer a problem in this country.” We also asked them to rate their level of happiness.

We found that: women who deny gender discrimination are happier with their lives. Women who recognized gender discrimination were not ③ feel as happy with their lives. Men deny discrimination more than women. People were more [エ] to deny gender discrimination in countries with higher levels of sexist attitudes. For example, people living in Russia would deny it more than people living in France.

Gender discrimination is a huge problem across the world. But we found that women who deny discrimination are actually happier. We think that this denial is actually a way for women to cope, making the world seem fairer. But it actually makes gender discrimination even worse. We shouldn't deny the existence of gender discrimination. Instead, we should fight against it. And this isn't just a problem for women – everyone should take action!

(Adapted from Napier, J.L., Suppes, A., & Bettinsoli, M.L. Why do some women deny gender discrimination? *Social Science Journal for Teens*, April 2022.

https://www.sciencejournalforkids.org/wp-content/uploads/2022/04/denial_article.pdf)

Ⅲ 次の1から8の英文の（ ）内の語を日本語の意味になるように並べかえ、文を完成させなさい。

1. 妹はいつも漫画を読んでいます。

My (comic, reading, sister, is, books, always).

My _____.

2. 彼女は3つ以上の外国語が話せる。

She (speak, more, can, languages, than, foreign, three).

She _____.

3. 僕は仕事より家庭の方が大事です。

My (comes, before, family, career, my).

My _____.

4. ビデオゲームが好きな女の子と結婚したい。

I'd (who, like, marry, to, games, video, girl, a, likes).

I'd _____.

5. 彼女は大学に入れるように一生懸命勉強した。

She (university, hard, in, studied, get, to, order, into).

She _____.

6. 彼がいつフランスから帰ったか知りません。

I (know, when, don't, from, he, France, returned).

I _____.

7. 多くの植物は春に花をつける。

Many (bloom, in, plants, spring, the).

Many _____.

8. 車を運転することは非常に楽しい。

It's (car, drive, fun, of, a, to, lot, a).

It's _____.



Ⅱ 次の文を読んで、問いに答えなさい。

スローフード運動は、1986年、イタリアのローマにマクドナルドの第1号店がオープンした際、市民の間で「僕らはパニーニを食べるんだ」という声上がり、反対運動がわき起こったのをきっかけに発展しました。99年8月には、ジョゼ・ボヴェという有名なフランスの農民活動家（現欧州議会議員）がマクドナルド店舗解体キャンペーンを始め、その様子は世界中に伝えられました。人間が社会の、あるいはシステムの奴隷になってしまうのを避けようとする戦略的な運動は、90年代をピークに一定の広がりを見せたのです。

しかし、その後の運動には陰りが見え始めます。それは、とりわけ90年代半ば以降のグローバル化の急進で、地元商店が大規模資本の直営店やフランチャイズに置き換えられて、ファストフードが雇用を生み出す重要なシステムとして見直されるようになったためです。2018年には、フランス・マルセイユ郊外のサンバルテルミ地区で、地域経済の落ち込みによってマクドナルドの閉店が決まると、住民たちが「閉店反対運動」を起こしました。

これは、(一) 残念であると同時に、非常に重要な展開です。共同体が共同体であり続けるための条件はいろいろありますが、そこには経済的環境も含まれます。具体的には、グローバル化の影響による格差拡大で(二) ピンコンカが進んだコミュニティでは、人々は生きていくためにあえてシステム世界を選択せざるをえず、それによってコミュニティはますます壊れて、ますますシステム世界に依存していきます。ヨーロッパ的アプローチの限界はそこに表れています。

これに対し、アメリカではシステム世界を重視し、システム世界の全域化をむしろ徹底しようとしています。

移民国家アメリカの社会は多人種・多民族で構成されており、人間関係は互いを知らないという「不信ベース」で成り立っています。人間集団の基本は、同じ価値や目的を持つ人たちが集まるアソシエーション（組織集団）で、行動に責任を負うのはあくまでも個人です。また、

(X)、汎システム化によって人間が経験する精神的不安定にも比較的耐性が強い(三) ドジ コウが備わっています。

システム世界の全域化を徹底するアメリカ的アプローチは、こうした歴史や文化を反映したものです。一口で言えば、成員が「動物」でも回る社会の仕組みを構想しようというものです。ここで「動物」というのは、不快を避け、快に向かう性質を持つという意味です。つまり、人々の内発的な善意・良心を用いる代わりに、アメとムチだけでなく、快・不快の巧妙なコントロールを行うアーキテクチャ（仕組み）による管理化を進めるという戦略です。

飲食店を例にとると、大資本の直営店やフランチャイズ店では、BGMの音量、照明の明るさ、座席の硬さ、家具や調度のアメニティを使って、客の(四) ダイリコウ時間をコントロール

し、単位面積当たりの収益率を上げようとしています。客は、そうした戦略に気づかず、「疲れたな」とか「飽きたな」と感じて、主観的には自発的な選択として店を出ますが、そうした自発的な選択がアーキテクチャによってコントロールされています。ローレンス・レツィグは『CODE—インターネットの合法・違法・プライバシー』（山形浩生・柏木亮二訳、翔泳社、2001年）という著書で、これを「アーキテクチャユラル・パワー」と呼びます。

「人間が快・不快を感じる動物でありさえすればよい」とするこうしたアプローチは、収益率上昇にとっては有効ですが、副作用をとまいません。こうしたアーキテクチャユラル・パワーを用いたシステムは、客の常識的な価値観を一切当てにしないので、システム世界の全域化が進んでいけば、社会はその分、さらに「不信ベース」になりがちなのです。

そうした流れを象徴するのが、モンスター・クレマーによるカスタマー・ハラスメント（顧客・取引先からの嫌がらせ・過度なクレーム）です。不信や不安が原因で、損得勘定に過剰に敏感になって、些細な不利益でヒステリーを起こす人が増えるのは、システム世界の全域化にともなう当然の副作用です。

そうした副作用にどう対処するのか。アメリカ的アプローチでは、システム世界の全域化による副作用には、システム世界の全域化の徹底によって対処します。アメリカのマクドナルドでは、商品を受け取るまでの時間が長いことを理由に店員を殴ったクレマー事件が発生すると、すぐさま警察に突き出して解決します。警察＝行政というシステムで解決するのです。さらに、Airbnb などでは、プロバイダーのみならず、消費者・ユーザーの振る舞いも評判スコアにカウントされますが、そうしたシステムを使うわけです。

ここから少し話を進めます。マックス・ウエーバー研究で知られる社会学者ジョージ・リツアは『マクドナルド化する社会』（正岡寛司監訳、早稲田大学出版部、1999年）という本を書いています。元になっているのは1980年代に書かれた論文ですが、そこで彼は「マクドナルド化」と「デイズニーランド化」という言葉を使います。

リツアの言う「マクドナルド化する社会」とは、人間が「動物」でありさえすれば回るような脱人間化・没人格化・損得化が進んだ社会です。そういう社会では、人々は「かけがえない人間として扱われたい」という感情を無視されることで^(E) 疎外感や不安感を抱くようになり、カウンセリングを受けなければ押しつぶされてしまうような心理状態に置かれます。

それに対処するために使われるのが「デイズニーランド化」、すなわち祝祭的消費による感情的回復です。アメリカでは、マクドナルド化によって人々が抱くようになった疎外感や不安感を、デイズニーランド化によって与えられる祝祭体験で埋め合わせることで、人々が感情的に^(E) 破綻してシステム世界からこぼれ落ちることがないようにしているのだ、というのがリツアの図式です。

そこには「^(E) システムがつくり出した裂け目を、システムで埋める」というシステムのマッ

チポンプがあり、人間はマツチポンプの素材へとおとし貶められています。そこには、人間を動物のような制御対象と見なすシステムの自己運動があるだけで、社会の主人としての人間という存在はほとんど完全に消え去っています。われわれの尊厳は、果たしてそれで保たれるのか。保たれないからこそ、③ トランプ現象や、Qアノン現象のような陰謀説のまん延があるのではないで しょうか。 みなさんじっくり考えていただきたい点です。

(宮台真司、野田智義「経営リーダーのための社会システム論」による)

問 1 傍線部(ア)・(イ)・(ウ)のカタカナを漢字にしてください。

(ア) ヒンロンカ ()

(イ) ドジョウ ()

(ウ) タイリユウ ()

問 2 傍線部(エ)・(オ)の漢字を平仮名にしてください。

(エ) 疎外感 ()

(オ) 破綻 ()

問3 傍線部(1)の「残念であると同時に、非常に重要な展開です」について、作者の考えと最も合致する適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① マクドナルドの閉店に反対し、システムの奴隷になるという危機を克服したから。
- ② マクドナルドの持つ経済的な価値に気付き、精神的な安定を得られたから。
- ③ マクドナルドの閉店に反対することで、人々がコミュニティを取り戻したから。
- ④ システムの奴隷になる危機を感じつつ、マクドナルドの経済的価値に依存するほかないから。
- ⑤ コミュニティの崩壊の危機をマクドナルドの経済的価値が救済してくれるから。

問4 空欄(X)に入る適切な文章を次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 集団主義の国なので、人々は仲間から見られていると感じており
- ② 自然主義の国なので、人々は天に見られていると感じており
- ③ キリスト教原理主義の国なので、人々は神に見られていると感じており
- ④ 自由主義の国なので、人々は市場から見られていると感じており
- ⑤ 資本主義の国なので、人々は顧客から見られていると感じており

問 5 傍線部(2)の「システムがつくり出した裂け目を、システムで埋める」について作者の考えと最も合致する適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その番号を記入しなさい。

- ① 祝祭的消費が生み出す不安感をマクドナルド化による経済的な利益によって回復すること。
- ② マクドナルド化が引き起こすコミュニティの崩壊を、人々が互いにコミュニケーションを取ることで埋め合わせることで回復すること。
- ③ 脱人間化が進んだ社会で、ディズニーランドで楽しい時間を過ごすことで人間的な感情を回復すること。
- ④ 動物でも回るような社会で生き残るために、徹底した損得勘定で心理的な健康を保つこと。
- ⑤ 人間を動物のような制御対象とみなす社会で、内発的な善意によって人間性を回復、精神の安定を取り戻すこと。

V 次の1～15の問いに、日本語（いわゆるカタカナ語を含む）もしくはアルファベットで答えなさい。

問1 元は崇拜を意味するラテン語に由来する言葉で、ある特定の人物への狂信的な崇拜、さらにはそういう狂信者を産み出す反社会的な宗教集団を何というか。

()

問2 円の他通貨に対する相対的価値（1円単位で交換できる他通貨の単位数）が少ない状態のことを何というか。

()

問3 エリザベス2世の崩御により、イギリス国王に即位した人物の名前を答えなさい。

()

問4 2023年現在のアメリカ合衆国において、白人に次いで最も多い人種は何か。

()

問5 世界で二番目に信者数の多い宗教は何か。

()

問6 SIL Internationalが2022年2月に公表したEthnologueによると、話者数の多い言語の1位は英語、2位が中国語（Mandarin）であるが、3位は何語か。

()

問7 世界の1日当たり外国為替取引額の1位はアメリカ・ドル、2位がユーロである。では、3位は何か。

()

問8 近年の国際金融危機の際に国際金融システムの要としての役割を果たすことが多くなっている、通貨と為替相場、国際金融システムの安定化を目的とした1945年に設立された国際連合の専門機関は何か。

()

問 9 2020 年時点で、世界からの留学生受け入れ数の最も多い国はどこか。

()

問 1 0 自国が他国に対して有する権利・義務や利益・負担を、他国が自国に対して有するそれらのものと均衡がとれるようにすべきであるという考え方を何というか。

()

問 1 1 国連のもとに組織された、教育、科学、文化と発展と推進、世界遺産の登録などを目的とした機関の名称を英語略称で何というか。

()

問 1 2 キング牧師らが努力した非暴力による運動が広範な支持を集め、1950 年代後半から 1960 年代前半に活発となったアメリカの黒人の基本的人権を要求する運動のことを何というか。

()

問 1 3 国連は 2017 年、先進国では少子化が問題視される一方で、地球の総人口は 2055 年に 100 億人を突破すると報告しました。今後、最も人口が増加するとされている国や地域が多く集まる大陸名を答えなさい。

()

問 1 4 北半球に対比させて用いられる言葉で、インドやインドネシア、トルコや南アフリカなどの南半球に多い新興国・途上国の総称を何というか。

()

問 1 5 エイズ・結核とならぶ三大感染症で、蚊が媒介する可能性があることから、感染者や死者が多く、医学や公衆衛生でも国際的に重大な関心が払われている感染症は何か。

()

点